

RV34xシリーズルータのダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコル(DHCP)バインディングの表示

目的

Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)サーバは、アドレスプールからリース時間 (IPアドレスが有効な時間) とともに、デバイスにIPアドレスを自動的に割り当てます。DHCPバインディングは、DHCPサーバデータベースで検出されたデバイスのメディアアクセス制御(MAC)アドレスへのIPアドレスのマッピングです。バインディングは、メンテナンスを容易にするためにレコードとして保存されます。

IPアドレスとMACアドレスがバインドされると、管理者はネットワークに接続されているデバイスのレコードを保持できます。ネットワーク上で見つかった不正なMACアドレスは、その後ブロックできます。

このドキュメントの目的は、RV34xシリーズルータのDHCPバインディングを表示する方法を示すことです。

該当するデバイス

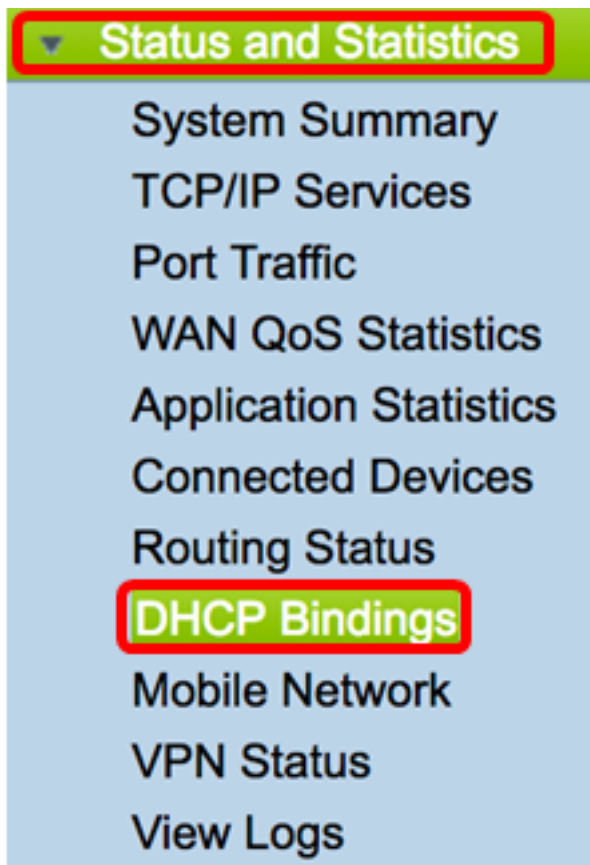
- RV34xシリーズ

[Software Version]

- 1.0.1.16

DHCPバインディングの表示

ステップ1: ルータのWebベースのユーティリティにログインし、[Status and Statistics] > [DHCP Bindings]を選択します。



注：DHCPバンドテーブルは10秒ごとに自動的に更新されます。

DHCPプール割り当てテーブルには、次の情報が表示されます。

DHCP Bindings Table			
IPv4 Address ^	MAC Address	Lease Expires	Type
192.168.1.122	50:7b:9d:64:ca:00	0 days, 20 hours, 55 minutes	Dynamic

- [IP Address]：デバイスに割り当てられているIPアドレス。
- MACアドレス：リースされたクライアントのMACアドレス。
- Lease Expires:IPアドレスのリースが期限切れになる時間。この例では、リース時間はネットワークで検出された時間から20時間後に更新されます。
- Type：接続が確立された方法。タイプは次のとおりです。

- Static：静的に割り当てられるか、取得されたIPアドレス。

- Dynamic:IPアドレスはDHCPサーバを通じて動的または自動的に取得されました。

これで、Rv34xシリーズルータのDHCPバインディングが正常に表示されたはずですが。